

平成26年度

視察等の届出・報告書

(届出番号11～15)

平成26年度 視察等の届出・報告書 (11~15)

届出 番号	訪問日	氏名	参加者	訪問先・内容
11	7月22日 ~23日	古南源二	池田文治・原秀樹	高知県大豊町 (CLT工法による住宅) ・ 越知町 (製薬会社との契約栽培の農産品)



様式第1号

平成 26 年 7 月 11 日

真庭市議会
議長 長尾 修 殿

真庭市議会議員 古南源二



調査研究、研修会、要請・陳情活動届

政務活動費を使用して、下記のとおり研究、調査等を行いますので届けます。

記

1 区 分 調査研究 研修会 要請・陳情活動

2 訪 問 先

高知県大豊町の大豊製材職員住宅
高知県越智町の農家

3 内 容

大豊製材所職員が使用しているCLT工法による住宅の居住空間等を調査研究する。
高知県越智町で製薬会社と契約栽培している農産品の調査研究。

4 行 程

7/22. 23
別紙のとおり

5 事務局から訪問先への依頼

必要

不要

(注) 複数の議員で実施する場合、代表者の届けでよいが、参加議員名簿を添付すること。



大豊製材 & 越智町農家視察スケジュール表					
7月22日					
真庭発	坂出JCT	大豊IC	視察	宿泊	
10:00	11:00	13:30	14:00~15:00	リッチモンドホテル高知	
				088-820-1122	
				はりまや橋交差点西北西820m	
				駐車場はホテル北西250m徒歩3分	
7月23日					
ホテル発	越智町	視察	揚着		
8:30	9:50	10時~11時	~17:00		
		越智町連絡先			

参加者 池田文治、原 英樹、古南源二以上3名

様式第2号



報 告 書



平成26年 8月11日

真庭市議会議長 長尾 修 殿

報告者 真庭市議会議員 氏名 古南源二



下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究・研修会・要請陳情活動をいたしましたので、その結果を報告いたします。

1 日 時	自 平成26年 7月 22日 (午前・午後) 10時 00分 至 平成26年 7月 23日 (午前・午後) 8時 20分
2 場 所	高知県越知町 高知県大豊町
3 用 件	越知町では、製薬会社と契約して農産品の調査研究。 大豊製材所職員が使用しているCLT工法による住宅の居住空間等を調査研究。
4 概 要	別紙にて報告

行程及び費用

7月22日	真庭発	坂田JCT	大豊IC	視察	宿泊
	10:00	11:00	13:30	14:00~16:20	リッチモンドホテル高知 088-820-1122
7月23日	ホテル発	越智町	視察	帰郷	
	8:30	9:50	10時~15時	越知町連絡先	~20:20
費用概算	ガソリン代	42.6L x 161円 = 6859円			
	高速代	13880円	往復		
	ホテル	7810円	二人		
	駐車場	700円			
	手土産	1800 x 2 = 3600円			
	大豊視察	500円	一人		
	お一人様(経費8839+ホテル7810)	= 16, 649円			



御影

御影の歴史
御影の文化
御影の風景
御影の未来

高知県は、四国でも最も所得の低い県として知られている。人口は約200万人余り、だれもが周知通り人口減少の洗礼を受けている県である。

昨年、高知県大豊町で真庭市にある銘建工業が出資して大豊製材株式会社が8月にオープンした。9月に第7回全国水源の里シンポジウムが開催され、真庭市からも市長をはじめ関係する職員、議員が参加したことは記憶に新しい。

越知町住民から聞いたところによると、杉やヒノキは植林されているが、手入れが出来ているのは2割程度にとどまるのではないかと言われた。大豊町でも多くの植林地が手入れされないままであるように見うけられた。

高知高速道路大豊IC脇に製材所は建てられていた。ICからは約2分という立地の良さである。説明によると、あさぎり製材所より早くから建築する予定であったが諸事情により遅くなった。大豊町かのありとあらゆるラブコールで後に引けない状況になったことがあり、建設に至ったと聞いた。

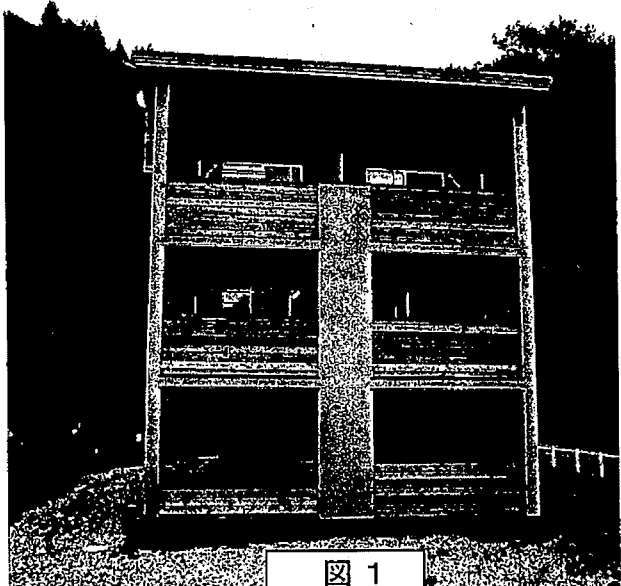


図 1

職員住宅(図1)は、製材所から北東に約600m、大豊IC北200mに位置している。居住者にとっては歩いて通勤できる距離にある。しかし、宿舎からの出勤は200m余りは下り、国道からは職場まではかなりの上り坂と、通勤路はかなりの高低差があるため車で通勤している。

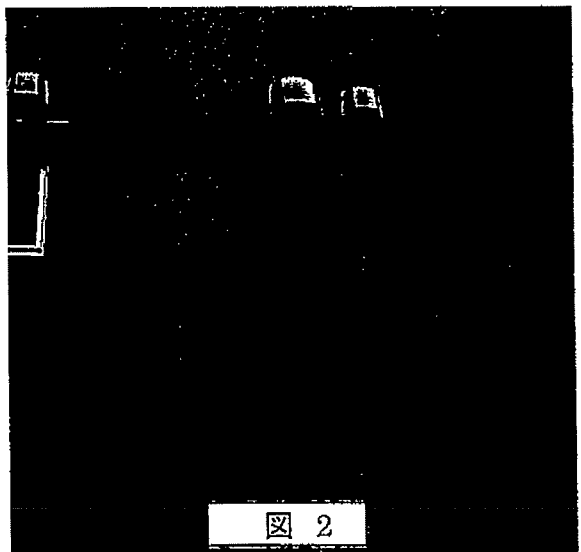


図 2

社員寮は3階建て1階は3LDK家族向け、2階・3階は単身者向けに1LDKを4部屋準備している。視察日は単身

者向けが1部屋空いていたので内部を見ることが出来た。

まず外壁から見た。写真Xの通り東面中央部に横に走るクラック(ひび割れ)、(図2)のように、西面も同じ様な高さにクラック(ひび割れ)が見られた。

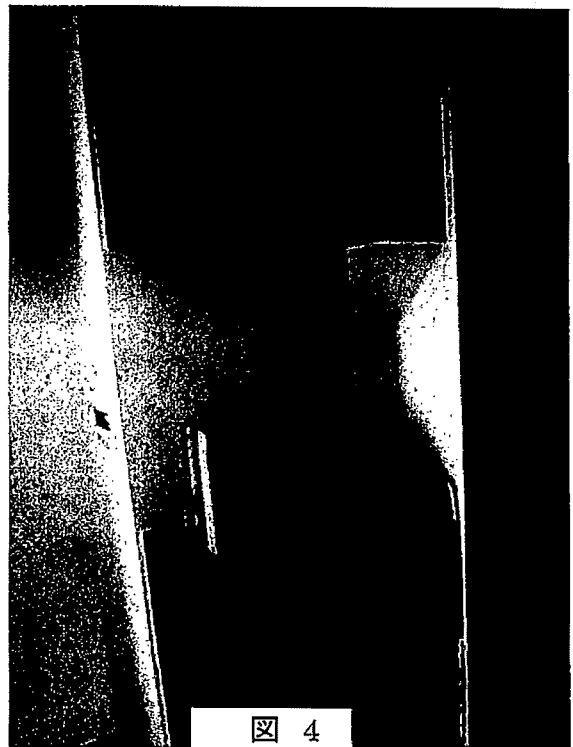
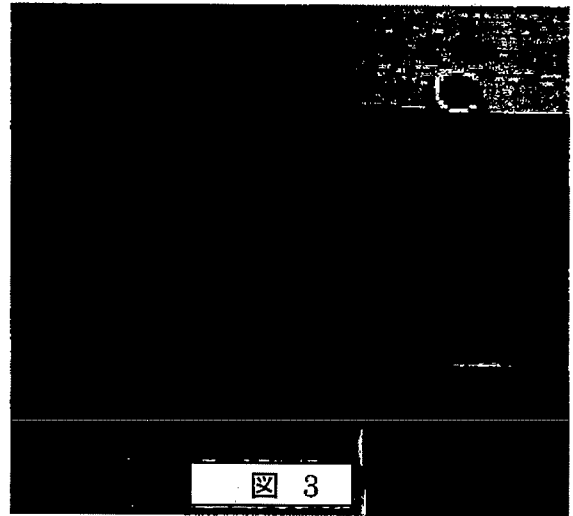
外部はCLTの上に防湿シート+硬質の木片セメント板 18mm+防湿シート+t+18mmの通気胴縁+(通気ラス+モルタル塗 8mm)+(グラスファイバーネット+モルタル 7mm)+仕上げモルタル 2mm+塗装(リシン)と設計図に記載があるが、(図3)のように1階2ジョイント部分付近にもクラックが見られた。ラスモルタルを塗り、重ねているが、結果的によくかった。また、鉄骨階段の踏み面(モルタル金コテ仕上げ)の中央部分(写真には写っていない)にヘアークラックがあり、同時期に視察した2人の議員も気がかりで脳裏に残っている。

CLT材は新しい木材利用の一端として森林資源の有効活用と大量使用の方策として有望であると確信する。

計画中の市営住宅では改善を望みたい。

それでは、内部と見てみよう。

2回の1号室(201)に潜入。玄関部分は一般的なワンルームマンション(アパート)に見られるような標準型で下足入れも標準のように見れる。(図4)キッチンも電磁調理器がセットしてある。(図5)



浴室はどうか。標準型のバスユニットが設置されていた。ホテルにあるようなトイレ、洗面が一体型でないところが実によい。洗濯機設置スペースも確保されており、製材所従業員宿舍の配慮が見える。

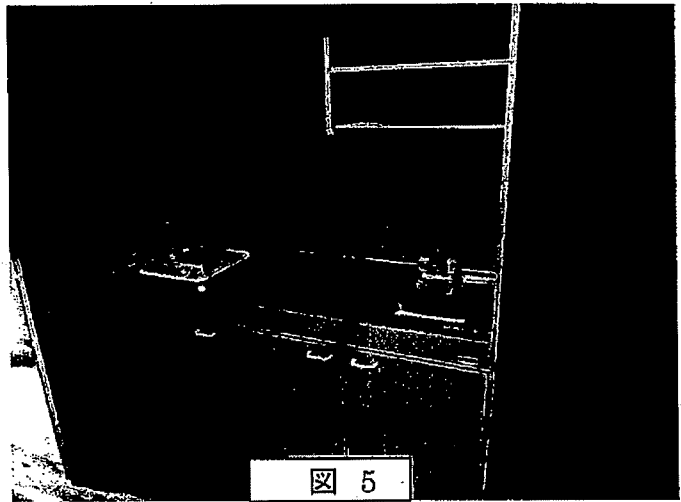


図 5

噂の範囲で聞いていたが室内空間は本当に狭いのだろうか。

見た通りの单身住居(図6)。狭いのだろうか。居間にあたるリビングの室内寸法を計ってみた。3,635mm位。壁心が4,000mmであっても仕上げまでに、石膏ボード12.5mm2枚+グラスウール50mm+石膏ボード12.5mm+壁紙など(壁紙は1mmもない)でかなり狭くなっていると思われる。

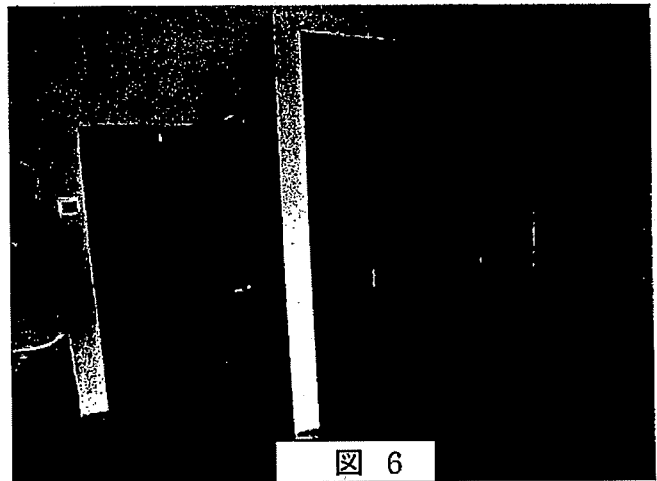


図 6

室内寸法 = 壁心 4,000mm - [壁の半分 75mm + 石膏ボード 12.5 + 石膏ボード 12.5 + グラスウール 50mm + 石膏ボード 12.5mm 壁紙] + [壁紙 + 石膏ボード 12.5mm + グラスウール 50mm

m + 石膏ボード 12.5 + 石膏ボード 12.5 + 壁の半分 75mm] = (325mm)。

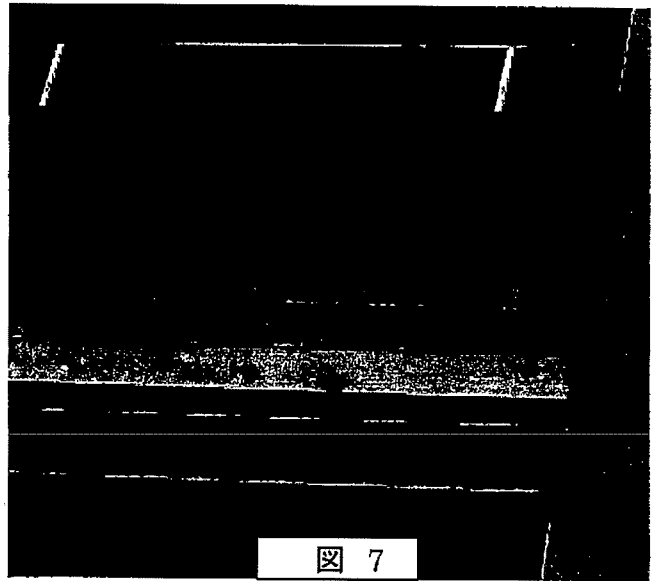
室内寸法 = 3,675mm となる。

一方、一般住宅の在来工法軸組み方式の場合は壁心を1,910mmとすれば心壁(柱が見える塗り壁の和式住宅)の場合、1間では部屋内寸法は1,805mmである。2間の部屋内寸法は3,715mmである。また、軸組工法で大壁仕上げ(柱が見えないクロス仕上げ等)にすれば、石膏ボード12.5mmを貼るから両面で25mm小さくなる。すなわち1間の内側は1805mmになる。2間の場合は、和式(3,820mm - 105mm) = 3,820mm。に対し、クロス仕上げの

場合石膏ボード 12.5mmが両壁に施工されるために 25mm狭くなり 3,795mmとなる。

したがって在来工法から比較すると、CLT工法は室内が狭くなるこ
とがわかる。

バルコニーの外部に取り付けてあ
る外材の板(図7)はいかにも戴けな
かった。市営住宅ならばアルミ板と
か、防腐剤を完全注入した国産材
(杉・桧)とするべきであろう。



CLT工法は、床と天井が一体となる構造のため、上部階の音が下部階に
伝わるのが気にかかる。視察先では、国交省からそのことが指摘されていると
の事であった。(CLTで建てるオリンピック村に使用要望をしているが、オリンピ
ック・パラリンピック開催後は一般住宅として提供する予定があり、上の階の音
を懸念している)

改善策として、公営住宅等プライバシーの確保が必要な住宅に利用する
場合は、上部階の床に畳を敷くとか、裏面に遮音材加工されたフローリングを
使用することが必要と思われる。

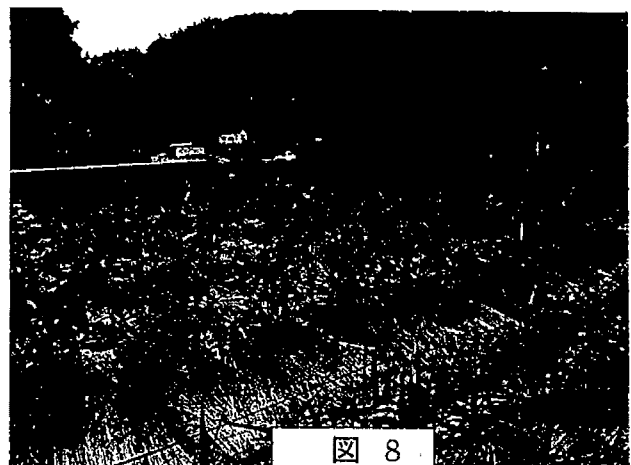
したがって、真庭の市営住宅を建設するに当たっては、この報告書を参考
に十分検討の上、設計図書に反映させ施工させることが重要との結論に至
った。

これ以降は越知町の報告

7月23日越知町視察

案内人は、岡林氏(姉さんが真庭
市に嫁いでいる)が10時に越知町役
場で待機していた。

視察コースの打ち合わせの後、少



し南に戻って「しょうが」の生産が盛んな地区を案内頂いた。土佐市谷地地区。写真の様に一面がしょうがの畑であった。(図8)

「路地しょうが」は、3月から4月にかけて植え付け10月後半から11月に収穫し、(図9)のコンテナに詰めて出荷する。降霜に合うと保管時点で腐れてしまう。土壌の消毒に始まり、除草剤の散布、畦建て作業、除草作業、灌水(図10)、消毒、倒伏防止ネット張り、掘り起こしは機械で漉き取るようにし手作業、気候条件に加えて、連作障害、価格の変動がリスクを後押しする。病虫害対策では圃場で靴を履きかえる農家もあると聞く。手間のかかる作物だ。今年のハウス新生姜はkgあたり1300円を超していたが、来年はどうなるだろうか。

近くに地元製紙会社に取り組んでいる「こうぞ」の栽培地(図12)があるというので行った。社長の発案はいいのであるが、実情が何とも言えない。

いよいよ、山椒の栽培地に案内頂く。急峻な山の中腹を1時間も走行すると、斜面の畑にでた。山椒とミシマサイコを栽培しており、眼下には仁淀川が小さく見えた。下まで車で25分かかる。

ミシマサイコ(図13)は2月頃畦播きにして丈を伸ばさず根を大きくさせるために上部を3回程度刈り取る。秋に収

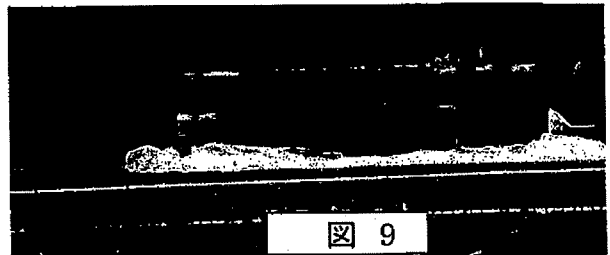


図 9

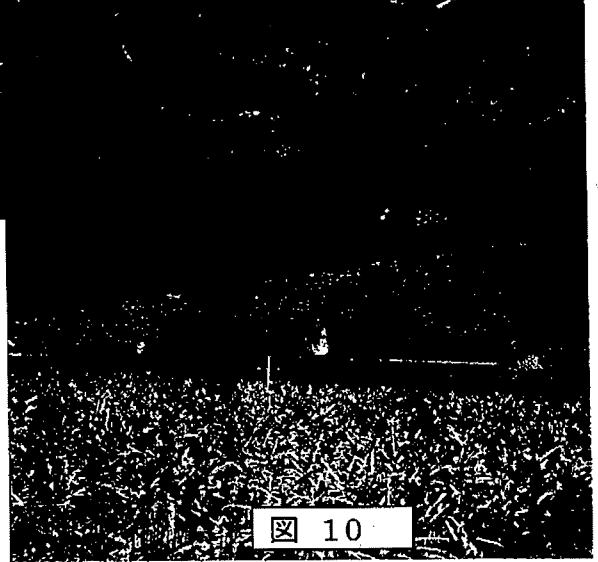


図 10



図 11



図 12

穫になり根を乾燥させて、漢方薬用に出荷する。今年からはNPO法人のヒューマンライフが津村薬品と契約しているという。播種期に降雪のある真庭には向かないと思う。

山椒の種類はブドウ山椒(図14)。見たことのないふゆ山椒(図15)。この地のブドウ山椒はすべて接ぎ木による山椒の木である。4年目くらいから収穫できるようになり大きいもので13年くらいになるという。樹高はあまり高くないように3本仕立てにする。

山椒の栽培が一番多い北川充興氏(図16の右側、左は案内人の岡林氏)を紹介していただき、圃場(写真)で説明を聞いた。

北川氏によると、作付は3haの圃場に2千本を植栽している。圃場と言っても以前は棚田。田の方が早く大きくなるが、大きくなって台風などに合うと、足元がゆすられ柔らかくなり倒木することがあるので畑地に植栽するほうが良いという。また施肥もすることから猪が圃場を掘り返し水がたまることになる。収穫後は消毒と施肥が仕事になる。

生産量は年間生実で10t(7月中旬から8月末)、全量ヒューマンライフに出荷し乾燥の後、実と皮を分けて、皮の部分を漢方薬用に出荷する。農家の取り分は、出荷品(生産重量の3割程度)で3500円/kgという。



図 13

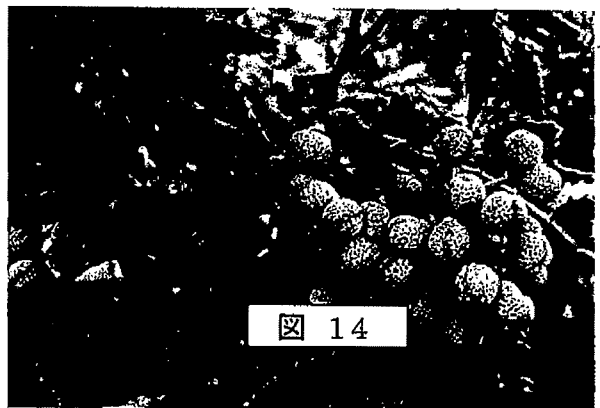


図 14

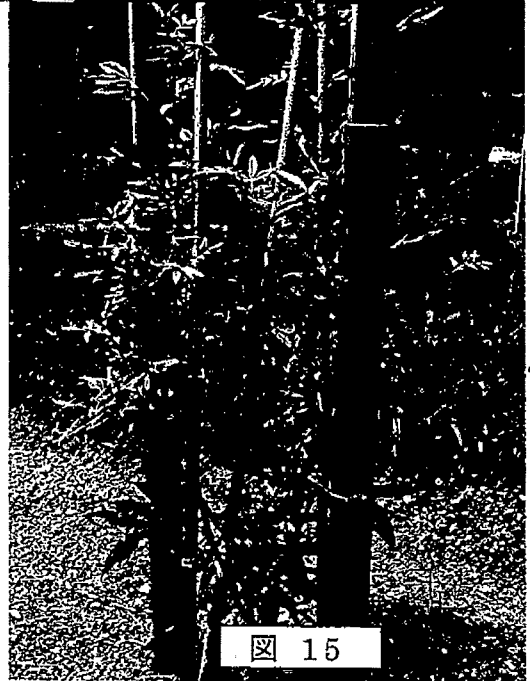


図 15

作業員を圃場と選別場に配置している(図17、図18)。収穫時期が45日程と忙しい為に地域労働者を頼んでいる。地域と言っても住家が点在しており、通勤時間はわからない。1日7500円と協定されている。1kg300円で収穫する能率給の人もいるが、条件が良くても1日30kg上限しか摘み取れないと聞いた。生物なので収穫から乾燥場までには時間を迫られる。10kg入るメッシュの袋に入れて、乾燥場まで出荷する。

山椒は標高1000m位でも一面に生育しているところがあるように高地でも採算が可能と聞く。また、山椒の収穫は低地から高地へと収穫していくので標高差のある段々畑が向いて言えるという。この地は休耕田だった(図18)。中山間直接支払制度を利用し、且つ貸借料も払うというから、土地所有者にはこの上ない環境である。

北川氏は、子供のいない2人暮らしである。売り上げの半部残れば良いという。四国の急峻な地域で、農業でこのくらいの収入があげれば申し分ない。若者も定住できると思った。

農家の高齢化、耕作放棄地、急峻な地域でも作付けできる点、大山でブルーベリーの生産が出来ていることから、山椒も落葉樹であり雪害による枝折れはな

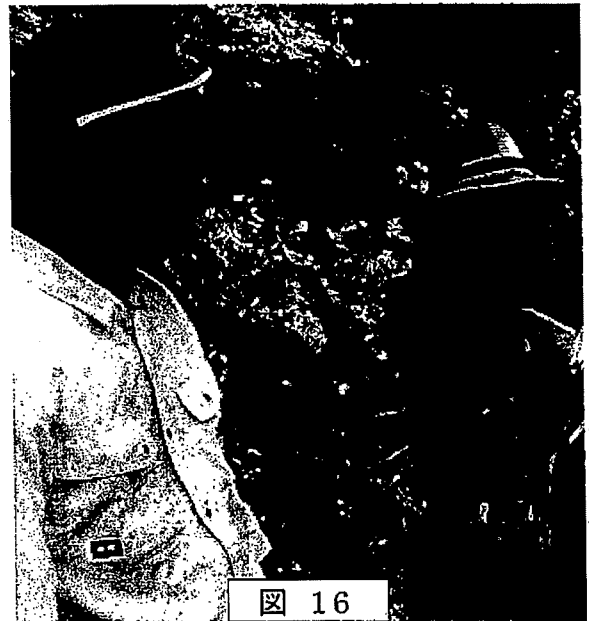


図 16



図 17



図 18

いと考えられる。など真庭地域で生産可能性は十分にある。真庭市への導入も、販売先の心配があるが、薬品会社を探して検討してみる必要がある。

以上代表して報告する。

平成26年度 視察等の届出・報告書 (11~15)

届出 番号	訪問日	氏名	参加者	訪問先・内容
12	7月17日 ~18日	河部辰夫	氏平篤正・草地秀育・ 妹尾昇・竹原茂三・ 築澤敏夫・中尾哲雄・ 初本勝・福井荘助・ 福島一則	京都府南丹市(美山かやぶきの里)・京都 市(伝統文化・世界遺産研修)



平成26年7月14日

真庭市議会
議長 長尾修 殿

真庭市議会議員 河部 印

調査研究 研修会、要請・陳情活動届

政務活動費を使用して、下記のとおり研究、調査等を行いますので届けます。

記

- 1 区 分 調査研究 研修会 要請・陳情活動
- 2 訪 問 先 南丹
田南市美山地域、秋の京都
- 3 内 容 美山地域おこし民衆調査研修
京都伝統文化、世界遺産研修
- 4 行 程 7/17、18
別紙のとおり
- 5 事務局から訪問先への依頼 必要 不要

(注) 複数の議員で実施する場合、代表者の届けでよいが、参加議員名簿を添付すること。

美山茅葺き民家視察研修及び京都伝統文化研修参加者名簿

1、河部辰夫、2、福井荘助 3、福島一則、4、初本 勝

5、中尾哲雄、6、築沢敏夫 7、宮田精一 8 氏平篤正

9、竹原茂三、10、妹尾昇 11、草地秀則

以上 11名

育

行 程

* 7月17日

久世本庁舎AM6時出発～中国道～名神～京都南インター～西大路～北山通～ホテル
室ヶ池グランドプリンス～京都市役所（視察、研修）～世界遺産東慶寺～PM17時
ホテル着

* 7月18日

ホテル、AM8、30分～高雄、北山～10時30分美山茅葺き集落（説明、研修）
美山ふれあい広場（昼食）12、30分～丹南篠山インター～舞鶴道～中国道～久世
インター～市役所帰着16時30分

（グランドプリンスtel、075-712-1111）

（京都府大野部長 tel、

議長 副議長 局長 GL 係 回 覧

様式第2号



報 告 書

平成26年7月15日

真庭市議会議長 長尾 修 殿

報告者 真庭市議会議員 氏名 河部 辰夫

下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究・研修会 要請陳情活動をしましたので、その結果を報告いたします。

1	日 時	自 平成26年7月17日 (午前・午後) 6時20分 至 平成26年7月18日 (午前・午後) 4時20分
2	場 所	京都府南丹市美山町垣地区 長 京都府京都市中心部 観光局
3	用 件	美山町垣地区の里に於ける地域活性化の 取組状況に関する 観光局を代表する京都府の100年の文化財を 紹介する。
4	概 要	別紙にて。

*美山かやぶきの里（訪れるたびに癒される日本の原風景）の取り組み

平成26年7月25日

1、国の重要伝統的建造物群保存地区の選定を受ける。（平成5年12月8日国36番目）

候補地として、美山町内に他の候補地（集落）も幾つかあったが住民の合意形成が出来ず断念する。なかで、ここ北地区は全国的にも珍しい100%の合意が出来た。

要因として、

- 1) 少子高齢化が進行する中で、村の将来に対する危機感が強かったこと、
- 2) 比較的地域のまとまりが良く、協同の意識が強かった。
- 3) 来訪者からの刺激を受け、村の景観の値打ちを認識できたこと。

2、行政の支援。 都市との交流を行政施策の柱に「清流とかやぶきの町」を行う。

平成4年4月 民族資料館

6年4月 お食事処きたむら

7年6月 民宿またべ

を京都府シンボルづくり事業にて整備する。

（いずれも公設、管理を委託される。）

3、運営会社設立に向けて

- 1) 行政の支援を受けた3つの事業所と農産加工グループはそれぞれ個別の運営を行っていた。
- 2) 村人全員の参画による村起こし（出資）
- 3) 歴史的景観保存の為の機能を発揮する必要性がある。
 - ・ 限り無いかやぶきの里保存の為の後継者の確保と育成
 - ・ 各事業所の連携による事業拡大と効率的な運営、透明性の確保
- 4) 平成10年頃から、町の指導もあり、法人化への模索を行う。

平成12年4月3日有限会社「かやぶきの里」設立 出資金330万円

（組織機構図、事業実績は別紙の通り）

* 観光ニッポン京都 世界一の観光都市京都に学ぶ（世界遺産視察研修）

1、東寺（教王護国寺）弘法さんの名で親しまれる

平安遷都の際、鎮護国家のために桓武天皇が造営。羅城門の東西に築かれた寺の一方にあたる。弘法大師空海が真言密教の根本道場とした。正式には教王護国寺という。薬師三尊像を安置する金堂をはじめ、弘法大師座像や秘仏である不動明王座像を安置大師堂など、国宝・重文の建物が立っている。荘厳な伽藍は室町から江戸初期にかけて建てられている。貴重な古文書、仏像、仏画など密教美術の宝庫で、国宝56点、重文128点を蔵する。なかでも講堂に安置された21体の国宝の仏像は、力強い貞観彫刻で、密教世界を表している。一見の必要ありと私は捉えている。

京都を象徴する景観を創り出す五重塔は、徳川家光の寄進によるもので、江戸初期の秀作。初層内部には大日如来を中心に安置し、四天柱に曼荼羅諸尊が描かれている。

2、銀閣寺（慈照寺）わび、さびの東山文化を象徴する。

足利8代将軍義政が金閣寺にならって建てた山荘を、義政死後に夢窓疎石を開山として臨済宗相国寺派の慈照寺に改めた。室町時代の建築である国宝の銀閣は2層の樓閣で、下層の心空殿は和様の書院風、上層の潮音閣は禅宗様の仏堂風に構成されている。義政の持仏堂であった国宝東求堂には、背面東側に最古の四畳半茶室があり、付書院と違棚が設えられている。境内には東山文化の粋を象徴する建物が配されている。月待山の麓に広がる庭園は、苔寺を真似て善阿弥と義政自らが制作にあたった池泉回遊式。池を中心に多くの名石と樹木が配され、石組の細部にわたるまできめ細かい意匠が凝らされている。銀砂灘と向月台という美しい二つの盛り砂を前景におき、月待山からのぼる月を鑑賞する為に作られた名勝である。

平成26年度 視察等の届出・報告書 (11~15)

届出 番号	訪問日	氏名	参加者	訪問先・内容
13	5月29日	竹原茂三	河部辰夫	京都市・地方議員研究会（川本達志氏講演 「教育委員会の組織と運営」）




様式第1号

平成26年5月20日



真庭市議会
議長 長尾 修 殿

真庭市議会議員 竹原 茂三 

調査研究、研修会、要請・陳情活動届

政務活動費を使用して、下記のとおり研究、調査等を行いますので届けます。

記

1 区 分 調査研究 研修会 要請・陳情活動

2 訪 問 先

メルパルク 京都

3 内 容

講演会 ... 川本達志氏
教育委員会との組織と運営

4 行 程

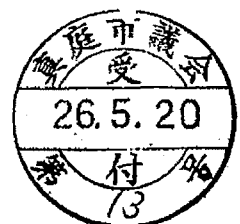
5/29
別紙のとおり

5 事務局から訪問先への依頼

必要

不要

(注) 複数の議員で実施する場合、代表者の届けでよいが、参加議員名簿を添付すること。



教育委員会の組織と運営

平成26年5月29日

自治体経営コンサルタント

川本達志の講演

場所・・・京都

落合IC \longleftrightarrow 京都南IC

時間・・・9:30～11:30

参加者・・・河部 辰夫 竹原 茂三

議長 副議長 局長 GL 係 回覧

様式第2号



副議長



局長



GL



係

回覧



報告書

平成26年7月15日

真庭市議会議長 長尾 修 殿

報告者 真庭市議会議員 氏名 竹原茂三



下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究・研修会・要請陳情活動をいたしましたので、その結果を報告いたします。

1	日 時	自 平成26年 5 月 29 日 (午前・午後)	時 分
		至 平成 年 月 日 (午前・午後)	時 分
2	場 所	メルパルク京都	
3	用 件	講演会 --- 川本達志 (自治体経営コンサルタント)	
4	概 要		



教育委員会の組織と運営

平成26年5月29日

自治体経営コンサルタント

川本達志の講演

場所・・・京都

時間・・・9:30～11:30

参加者・・・河部 辰夫 竹原 茂三

講義内容

* 首長部局と教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律について

* 首長と教育委員会との関係

教育委員会は教育分野に関し相当広く権限を持っている。

首長は法律上教育委員会に口出しはできない。(現行の法律では)

* 教育行政の世界は上位下達

文部科学省の統制体質

* 視学官について

* 教職員の定数と給与

国が定める定数を超えて自治体が配置しようとする、給与は全額自治体負担となる。

* 首長の教育委員会への影響力

教育委員の任命権

首長の総合調整権

予算編成権・財産の取得・処分

* 大阪府教育行政基本条例について

* 国の教育権について

* 教師の教育の自由

* 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律案(現在提案中)

教育行政の責任の明確化

総合教育会議の設置・大綱の策定

国の地方公共団体への関与の見直し等

* 教育行政の問題の本質

文部科学省→県教育委員会→基礎自治体教育委員会→学校と云う、中央からの統制で形と制度を縛られて、基礎自治体の教育委員会や学校は、実際は権力もなく身動きしにくいのに、責任だけは取るようになっているという歪みがあるのではないか?

* 議員としての視点

安心して学べる学校づくり(いじめ対策)

教員の意識改革(「教える」から「学ぶ支援」へ)

開かれた学校づくり(他機関との連携)

首長の教育方針(教育総合会議招集、大綱策定)

学校をよくするために、親、教師、行政が何をすればいいのかを議論

平成26年度 視察等の届出・報告書 (11~15)

届出 番号	訪問日	氏名	参加者	訪問先・内容
14	10月23日 ~24日	竹原茂三	妹尾昇	和歌山県田辺市 (第8回全国水源の里シ ンポジウム)

様式第1号



平成 26年 7 月 25 日



真庭市議会
議長 長尾 修 殿

真庭市議会議員 竹原 茂三

調査研究、研修会、要請・陳情活動届

政務活動費を使用して、下記のとおり研究、調査等を行いますので届けます。

記

1 区 分 調査研究 研修会 要請・陳情活動

2 訪 問 先

用刃市

3 内 容

第8回水凜の黒シンポジウムに参加

4 行 程

10/23, 24
別紙のとおり

5 事務局から訪問先への依頼 必要 不要

(注) 複数の議員で実施する場合、代表者の届けでよいが、参加議員名簿を添付すること。





平成26年度政務調査視察研修報告書

平成26年10月30日

報告者 森真会 妹尾 昇

下記の通り政務調査費を使用して、研究研修をしましたので報告します。

視察年月日

平成26年10月23日から24日まで 1泊2日（竹原、妹尾、自家用車で参加）

視察場所

和歌山県田辺市竜神市民センター

視察の目的

1、第8回全国水源の里シンポジウム

23日、12:30 オープニングアトラクション 紀州竜神太鼓

13:00 開会 主催者あいさつ 田辺市長真砂充敏氏、来賓祝辞 和歌山県知事 仁枝吉信、総務省過疎対策室長 斉藤秀生、国土交通省国土政策企画官小松雅人、農林水産省農村政策推進室長 平中隆司 他多数出席

13:20 第6回全国水源の里フォトコンテスト表彰式（グランプリ丹治美知夫福島県在住他13人）

13:50 基調講演「里山資本主義・水源の里の可能性」講師 藻谷浩介氏

講演要旨 里山の持つ魅力と山の資産、を活かした循環型産業創出の意義について示唆を訴えられた。特に講演の中で真庭市の山林の先進的な取り組み（燃料チップ・ペレット）の紹介、更に現在進めている「木質バイオマス発電」と「CLT直交集成版」工法の建物など真庭市の先進的な取り組みを度々紹介していたのが印象に強く残った。

15:05 パネルディスカッション 「里山資本を活かしたイノベーション」～水源の地域からイノベーションを！共生と再生～“再生の地・熊野から”

パネリスト 藻谷浩介氏、西塔大海氏、山田 拓氏、辻野昭二氏、真砂充敏氏

コーディネーター 川口真理子氏（株式会社大和総研主席研究員）

Iターンシートプレゼンテーションで

西塔大海氏（上毛町地域おこし協力隊）による「東大院生の
里山暮らし自由研究」の発表

山田 拓氏（株式会社美ら地球CEO）による「飛騨高山の
SATOYAMA EXPERIENCE」の発表

辻野昭二氏（近露・野中生活圏寄合会員）による「中辺路ち
かのワークライフバランス」について発表

16:40 田辺市長による大会アピール

16:50 田辺市議会副議長が閉会挨拶

17:00 次回開催地の太田真庭市長が歓迎の挨拶を力強くされた。

24日 8:00 現地視察 私たちは「地域林業コース」高野龍神国定公
園等を視察した。視察を終えて真庭に帰ったのは午後7時であった。

平成26年度 視察等の届出・報告書 (11~15)

届出 番号	訪問日	氏名	参加者	訪問先・内容
15	10月23日 ~24日	氏平篤正	入澤廣成・緒形尚・ 宮田精一	和歌山県田辺市 (第8回全国水源の里シ ンポジウム)

様式第1号



平成26年10月10日

真庭市議会
議長

長尾 修 殿

真庭市議会議員 氏平 篤正 (印)

真和会 (宮田、入澤、緒方、氏平)

調査研究、研修会、要請・陳情活動届

政務活動費を使用して、下記のとおり研究、調査等を行いますので届けます。

記

- 1 区 分 調査研究 研修会 要請・陳情活動
- 2 訪 問 先 和歌山県田辺市
平成26年10月23日～10月24日
- 3 内 容 第8回全国水源の里シンポジウム
- 4 行 程 別紙のとおり
- 5 事務局から訪問先への依頼 必要 ・ 不要

(注) 複数の議員で実施する場合、代表者の届けでよいが、参加議員名簿を添付すること。



様式第2号

報 告 書

平成26年10月30日

報告者 真庭市議会議員 氏名 氏平 篤 正

真和会(宮田精一、入澤広成 緒方尚)

下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究・研修会 要請陳情活動をいたしましたので、その結果を報告いたします。

1 日 時	自 平成26年10月23日(午前・ 午後) / 時00分 至 平成26年10月24日(午前・ 午後) 2時00分
2 場 所	和歌山県田辺市 田辺市龍神市民センター
3 用 件	第8回水源の里シンポジウム 「動き出した自然資本価値と持続可能な 共生社会」～いのちをつなぐ水源の里龍 神から世界に向けて～
4 概 要	「上流は下流を思い、下流は上流に感謝する」の全国水源の里 シンポジウムに参加した。来年は真庭市開催が決まっており、その 視点から報告をする。あまりに山の中で交通の便が悪く、会場も おきまつである。土産コーナーも歓迎太鼓も司会者も晋鼓着でレベル の低さを感じる。水源の里下から田舎は分が子が全国大会をとり 以上先のレベルは保て欲しい。音響も照明もひどかった。ネット への講評があり、印刷物もないで分からな。昨年は印刷物

ていた。件件播数のアートの報告がスクリーンであり、ご利用の文
 と音が資料が無い。また具知事、議長をはじめ、半数が代
 理である。具民性がどうかが、千比局が来た。来ていない。市税を使
 う以上パブリシティは大切にすべきである。主催者あいつ、パネリスト
 カンパニ、大会でパネリスト会あいつ市長が4回も登場する。
 これにはびっくりを感じた。副議長は居ないのか。

基調講演は今年直前に来た藤谷浩介氏の「里山資本主義
 水源の里の可能性」である。テーマを中心に話を進める。流石に
 二度目は笑える。二度目は昔年に欲しく願う。貯蓄のためは働
 くマネー主義はなくなった。都合の子が相続にいくと、里山は貯
 蓄のためではない。水源の里にはきれいな水があり、おいしい空
 があり、山に田畑があると。今回も6次産業、作って売る。お金
 を回転する大切さを説いた。石油の値段が上がって中び
 木のくすぶ電島をつくらせるとも紹介された。来年、中野と高野の
 里山活動が大会の視察先になりそうだ。旧遷喬小学校を含めた
 「木、そのバリエーション(休園)と組み入れの心と考える藤谷氏が、
 しゃべりにく。雰囲気だ。たのたの。作業服のおじさんに「起きろ」と
 3回も言った。おとすスリッパが注意しないといつた。ことだ。東方
 の意味が、よく分かっていない。机の移動に音を出して、Qを
 おぼろしーが左前に居てお見え。おぼろしーの文化祭
 という感じだった。勉強おぼろしー雰囲気は無かった。

パネリストカンパニは成功した。何人変わったか。3人と女性
 コーディネーター、それに市長と藤谷氏、おぼろしーの話を長くま
 して原稿どおり。4人くらい。1回、1分以内で納め、谷川し。移
 住に来たら、田舎の人は定住と見よう。これはおかしい。と言った。な
 りほい、都合はどうなっている。女性をはじめ、おぼろしーから
 くる。東京には木は厚い。とか。東京の話はもう...と思っ
 らない。おぼろしーの中、5人が真実都市というのにも気が来た。事年

パネリストをどうするかおぼろしー。会場は勝山か。以上
 (700h) (50h)